

九州

九州支社

〒810-0001 福岡市中央区天神3丁目10番20号（KG天神ビル東）  
電話092・741・46005 FAX092・741・17302  
kvsjv@deca.co.jp

# 会員のメリットを追求

## 建コン協九州

### 田中清新支部長が就任会見



4月時点で支部会員企業は九州・沖縄に本社がある企業101社、支社や支店がある企業52社の計153社。この15年ほどで地元企業の会員数は倍増した。建コン協で会員数最多の支部に成長を遂げたことについて田中氏は支部独自のセミナーの各県での開催、県部会の立ち上げなど地域に密着した地道な活動の成

### ウェブ会議活用など推進

4月20日の定時総会で選任された建設コンサルタツツ協会（建コン協）九州支部の田中清新支部長は14日、福岡市内で就任会見を開き「写真」「支部会員企業のメリットを追求していきたい」と抱負を述べた。就業環境の改善に引き続き注力するとともに、コロナ禍を踏まえ支部活動でウェブ会議の活用などを進める考えを表明。頻発する自然災害に対して全国組織としての強みを生かし「オール九州、オールジャパン」で対応する姿勢を示した。

果と分析。今後も地元企業、支社・支店会員企業で課題などを共有し、メリットを追求していくとした。

測量設計業協会など各県の建設業関連団体との連携を重視しつつ、地元企業だけでは困難な技術力の向上や災害対応などでは「前面に出て地域をバックアップしていく」と力を込めた。

支部運営では「会員企業の経営の安定化と就業環境の整備」「技術力の向上と品質の向上」「社会貢献活動」の3本柱の活動を充実させる。

このうち就業環境整備で

は発注機関との意見交換会を中心に納期の平準化や不適切指示の撤廃を現場レベルで浸透・定着させ、女性技術者委員会やセミナーを通じて働き方改革の具体的な取り組みの水平展開を図る。技術力の向上についてはコロナ禍を踏まえ昨年度に開催したウェブ現場見学会が盛況だったことを挙げ、「リモートによる技術力の向上をどんどんやっていきたい」と前向きに話した。

社会貢献活動では2020年7月豪雨により流失した球磨川流域の橋梁の被災状況調査で国土交通省のテックフォース（緊急災害対策派遣隊）に会員企業が初めて同行したことを紹介。

「オールジャパン、オール九州じゃなければできない」と改めて評価した。市民から夢やアイデアを募り、より良いまちづくりを目指す支部独自の活動である夢アイデア募集事業が今年20周年を迎えることから、記念事業にも意欲を見せた。社会全体で進むDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みに関しては導入費用が課題となり地元企業では進んでいないと指摘。BIM、CIMの原則化に「対応する技術力を上げていかなければならない」と述べ、必要な情報提供に努める考えを示した。社会インフラに携わる建設コンサルタントは「人命、安心を守る仕事」と強調し、災害時対応に数多く関わった経験から「事前防災」が重要だと主張した。

（たなかきよし）九州大工学部水工土木学科卒。1977年第一復建入社。執行役員技術第2本部長や取締役専務執行役員技術本部長などを経て16年に社長、20年から会長。建コン協九州支部では07年から理事を務め副支部長などを歴任した。趣味は昭和歌謡を聴きながらの晩酌。福岡県出身、68歳。